

令和元年度門真市保健福祉センター内
 障害者福祉センター指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】：平成30年度

1. 総則

指定管理者	株式会社オールケアライフ
事業期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
管理体制	【生活介護】 管理者《常勤1名》サービス管理責任者《常勤1名》看護師《常勤2名 非常勤3名》生活支援員《常勤9名・非常勤8名》嘱託医《非常勤1名》理学療法士《非常勤2名》作業療法士《非常勤1名》言語聴覚士《非常勤1名》送迎ドライバー《放課後等デイサービス兼務 非常勤5名》事務員《放課後等デイサービス兼務 常勤1名・非常勤1名》 【放課後等デイサービス】 *すてっぷ1組(重症心身障がい児以外対象) 児童発達支援管理責任者《常勤1名》嘱託医《非常勤1名》児童指導員《常勤3名 非常勤2名》その他の従業者《非常勤1名》機能訓練担当職員《非常勤1名》 *すてっぷ2組(重症心身障がい児対象) 管理者兼児童発達支援管理責任者《常勤1名》保育士《常勤2名》嘱託医《非常勤1名》看護師《常勤1名 非常勤1名》機能訓練担当職員《非常勤3名》 <<平成31年3月31日現在>>
職員の勤務状況	【生活介護事業】常勤換算 1 : 1.7配置 (前年度実績比22.1人の為常勤換算13.0人配置) 【放課後等デイサービス】児童福祉法に則り、主に重症心身障がい児対象、主に重症心身障がい児以外対象としての配置

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	生活介護事業に関する部分 午前9時から午後5時30分まで 開館 休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日 放課後等デイサービス事業に関する部分 午前9時から午後7時まで開館 休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日 ミーティングルーム等 午前9時から午後9時まで 休館日は③土曜日④休日⑤12月28日から1月3日(①②を除く)	協定書通りに実施し、行政やボランティア団体、一般の方からの依頼に対応できるように対応した。 貸館については、障がい当事者の日曜日の利用申し込みはなかった。	貸館に関しては、行政より日曜日の使用について2日間の依頼あり鍵の開閉等管理の為に職員が対応した。土曜日、日曜日が開館なのかの質問等はある。開館時間を超過しての利用はなかった。
	受付・案内	ミーティングルーム等 希望日時と部屋名を受付、当日開錠	ミーティングルーム等利用新登録者あり。	出来るだけ多くの利用につながるように、予約に対しては空いている時間帯や日にちを明確に伝えることで利用の幅を広めた。
	料金設定	障害者総合支援法第29条第1項に規定する特定費用として市長が別に定める額及び同法第29条第3項の厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額、児童福祉法第21条の5の3第1項に規定する通所特定費用として市長が別に定める額及び児童福祉法第21条の5の3第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した額。	生活介護事業では食事提供に係る食材料料費「260円/1食」及び利用者負担上限額に則り徴収。 放課後等デイサービス事業も同様に、利用者負担上限額に則り徴収。	規定通りの徴収を行った。
	広報・宣伝	特になし。	各支援学校や関係機関、自治体の見学及び専門学校・大学のボランティア・体験等を受け入れた。	門真市障害者福祉センターを知って頂く為に、近隣の小学生の見学者対応や他市や大学等からの見学者を受け入れ障がい福祉を知って頂く機会を設ける事が出来た。支援学校進路指導の先生と連携し、見学会や1日体験の受け入れを実施したことで卒業後の進路先としても見て頂く事が出来た。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	事務室、浴槽、及び食堂の清掃 浴室の水質管理	毎日朝及び利用者様が全員帰宅後16:00以降に清掃（モップ・掃除機）を行い、週末木曜日に関しては通常の清掃に加え、次亜塩素酸溶液にて床の清掃を実施。 汚染時は随時実施した。 浴室に関しては利用者全員終了後浴室用洗剤で清掃。一般浴室の浴槽、排水溝、窓ガラスは週末金曜日のみ実施。 機械浴室での医療的ケア利用者入浴時は毎回浴槽清掃を実施した。 食堂の清掃は委託業者が実施した。 水質管理は設備会社が実施した。	浴室の管理上、毎朝床を次亜塩素酸溶液で拭き、職員については入口で外履きと内履きの区別を行うことで衛生管理を継続している。 一般浴室浴槽内の水質に関しては、浴槽湯の破棄を規定日以外にも実施する等し、設備会社の方の簡易水質検査時の数値によっては、その都度塩素濃度引き上げなどの措置を継続している。
	修繕	設備の状況により年次計画書のとおり実施	機械浴に関しては業者のアフターサービスにより事故を未然に防ぐための点検と部品交換を行った。冬場の厨房に関しては、製氷機の老朽化に伴いその都度修理して使用。	機械浴の故障もなくなり、特浴での入浴は安全となるが、広い部屋の為、冬場は室内の暖房等での寒さ対策が必要である。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数・利用料金	生活介護 利用定員20名 放課後等デイサービス （重症心身障害児対象） 利用定員5名 放課後等デイサービス （重症心身障害児以外対象） 利用定員10名	生活介護 利用のべ人数 5,622人 放課後等デイサービス （重症心身障害児対象） 利用のべ人数 1,806人 放課後等デイサービス （重症心身障害児以外対象） 利用のべ人数 2,606人	生活介護の利用者数は昨年度より平均0.9名減。台風、地震に伴い2日間閉所あり。 放課後等デイサービスの利用者数は、昨年度より、重症心身障害児対象クラスで日平均0.3名の増。 重症心身障害児以外対象クラスは日平均0.5名の減。
	利用率	開所日数 生活介護 255日 （土日及び1/1～1/3を除く） 放課後等デイサービス 255日 （土日及び1/1～1/3を除く）	生活介護 平均利用可能定員 25人/日 平均利用者数 22.1人/日 放課後等デイサービス 平均利用可能定員 *重症心身障がい児 7.5人/日 *重症心身障がい児以外 12.5人/日 平均利用児数 重症心身障がい児 7.1人/日 重症心身障がい児以外 10.2人/日	新規の御利用者様微増だが、利用者ニーズや急な対応、利用日のご希望にお応えし一人あたりの利用日数が増えた。 放課後等デイサービスにおいてもデイに通う日数を増やしたいというニーズに対してお応えする事で、毎日のご利用も増え、長時間の対応等で、満足をいただいている。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
自主事業	夏祭り 『第10回オールケアふれあい祭りin門真』	地域との交流と開かれた施設運営を目的とした祭りの開催	「羽ばたけ！未来へ！～地域との絆を深めよう～」をテーマに、ボランティアの演奏・演出に利用児者様も参加。門真市内学校及び周辺施設にポスター掲示を依頼し、110名超の地域の方が来場された。（全約280名）1階2階のスペースを活用し、地域の方々とも交流を図る場となった。	チラシ配布からポスター掲示に変更したことも一因となった為か、集客は前年より減少した。各ボランティアグループも地域で活躍されている方々であり、テーマに沿った実施出来たのではとご家族様より意見も多かった。混雑が少なかった分、食事やゲームの場面で利用者様も満足の声が多かった。
	第4回外泊企画 『信太山野外活動センター』『味覚狩り』『周辺商業施設』	社会資源の活用目的	外泊企画では宿泊場所は前回と同様であったが、社会資源を使用した移動を経験することができた。2日目には宿泊先から移動し、初めての味覚狩り、商業施設での食事を実施した。	行程を変更したことで、味覚狩り等新しい体験をすることができ、利用者様の満足に繋げることが出来た。医療的ケアの必要な利用者様の参加もあり、ご家族様からは「安心して預けることができる」との声も頂いた。
	体育祭 『第10回門真体育祭』 クリスマス会 『第10回オールケアクリスマス会in門真』	利用者交流目的	平日に生活介護と放課後等デイサービス別々でイベントを開催した。利用者利用児、一人ひとりが主役であることを第一に考えた競技・演目を考案、全利用者様が演目に参加した。	平日に開催したことで、利用者様の参加が多かった。クリスマス会では当日に向け、日中活動の一環として、楽器の演奏の練習を重ね、家族様も見たとの姿に感動の声を多く頂いた。
	『ばど』『花見』『買い物』『レクリエーション』『門真市ボランティアフェスティバル』等	自主的な事業の開催	季節を感じる事ができる活動や調理実習を実施する。2週間に1度ばどのチラシ折り、配達作業の実施。初めての試みとして、近隣のコンビニエンスストアにて買い物を体験した。	日中のイベントには「全員参加」を目標に取り組む。買い物企画等、施設外での新しい活動の場設ける事も出来、ばど・調理実習等も、医療的ケアの利用者様も含め全員が参加することが出来た。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
その他	職員研修	資質向上研修を実施	外部研修に参加。 職員研修ではケース検討及び、介護技術研修を取り入れ、利用者様理解・資質向上を行った。	外部研修に参加した職員から、会議の場での全体周知を実施。ケース発表では、利用者理解・障がい理解を深めるとともに、スタッフ全員の情報共有の場となった。また、介護技術研修を実施し、基本の技術、知識の理解を深めた。
	個人情報保護	個人情報保護研修を実施	1回/月 全体ミーティング内で実施	個人情報として捉えるべき内容の認識が職員で共有していけるよう、会議で検討と情報共有を行うことができた。
	情報公開	市条例等に依り情報の公開にあたる	情報公開請求はありませんでした。	引続き、市条例に依り情報公開に当たります。
	緊急対応	防犯・防災・安全対策	『救急救命研修・AED講習』を実施 門真市健康増進課主催の建物内消防訓練に参加 安全対策として、ヒヤリ、事故を毎月集計・傾向を把握し会議で報告し、共有するとともに事故の減少に努めた。	救急救命研修を実施することによりいざという時の対応等を身につけることができた。 建物内消防訓練に、利用者、利用児も一緒に参加し、健康増進課の職員の方に協力をいただき、実際に建物外へ避難を実施した。避難時に必要な対応や介助を行い、さらに改善していく。

事業達成度評価 コメント

年間通して離職率が低く、職員の定着ができた。自主事業では例年と同様の行事を行ったが、「交流」に主体をおき、地域・利用者同士の交流を深められる内容とすることができた。外泊企画は社会資源の活用として行う事としているが、一泊二日を共にする事で、利用者同士の交流が生まれ利用施設のスタッフとの交流も深めることが出来た。

事業達成度評価

A

凡例：事業達成度評価の区分

- A：協定事項等に定める水準を上回っている
- B：協定事項等に定める水準と同程度である
- C：協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2) 利用者満足度の分析・評価

	項目	回答結果・対応状況	分析
1 利用者アンケート調査	実施方法 回答者数	・貸館利用者ー常時カウンターに設置 【回答数4人】 ・生介、放デー配付 【回答数 41人】	
	施設・設備の充実度	大変満足ー ①：21名、②：17名、③：21名 計59名 【44%】 やや満足ー ①：7名、②：8名、③：10名 計25名 【18%】 普通ー ①：7名、②：5名、③：8名 計20名 【15%】 やや不満ー ①：1名、②：0名、③：1名 計2名 【1%】 大変不満ー ①：0名、②：1名、③：0名 計1名 【1%】 記載なしー ①：9名、②：14名、③：5名 計28名 【21%】	アンケート項目「①食事内容」「②入浴施設の清潔さ」「③施設全体の満足度」 老朽化による浴室天井等の黒かびによる汚れや、床の剥がれ、汚れ、トイレの鍵等の設備の故障もあり意見も上がる。
	施設の利用のしやすさ	大変満足ー 24名 【53%】 やや満足ー 7名 【16%】 普通ー 9名 【20%】 やや不満ー 0名 【0%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 5名 【11%】	アンケート項目 「施設利用の予約」 利用回数の希望に添えるよう努力を行っている。具体的な空いている時間をお伝えし、少しでも多くの方のご利用に対応している。
	職員の対応・態度	大変満足ー 29名 【65%】 やや満足ー 10名 【22%】 普通ー 4名 【9%】 やや不満ー 1名 【2%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 1名 【2%】	アンケート項目 「職員・スタッフの対応」 親切・丁寧な対応を心がけている。貸館の予約についても当日予約や当日キャンセルにも柔軟に対応していることが良い評価につながっていると考えられる。
	利用料金	アンケートに項目なし	
	利用時間	大変満足ー 17名 【38%】 やや満足ー 18名 【40%】 普通ー 10名 【22%】 やや不満ー 0名 【0%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 0名 【0%】	アンケート項目 「開館日・開館時間」 土曜日の開館要望がある。保健福祉センター内であることを都度説明し了承を得ている。
	実施事業の充実度	大変満足ー21名 【47%】 やや満足ー11名 【24%】 普通ー 8名 【18%】 やや不満ー 1名 【2%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 4名 【9%】	アンケート項目 「事業内容の充実」 職員がご利用者とそのご家族との対話等により信頼関係を深め、個別支援計画を会議等で全体に周知し、支援の統一に努めた。 時間変更等の急な対応にも、柔軟に対応できた。
2. 市民等からの意見・要望等	主な意見・要望等の内容	対応状況等	
	以前より卓球室ご利用の車椅子の方より、床に落ちた球が拾いにくい為テーブル間にしきりを作ってほしいとの要望がある。	部屋の割り当て、内装、備品、空調については門真市の管轄である旨を伝えた上で、指定管理者として出来る対応を行い、仕切り等のご意見に関しては、障がい福祉課に要望として伝えている。	
	録音室の機材の老朽化	上記同様の対応を心掛けている。	
	土曜開館の要望がある。	門真市障がい者福祉センターでの実施は困難である旨、障がい福祉課より回答を頂いたため順次説明を行なっているが、要望としてはあがっている。	
	ショートステイが出来たらいいのと思う。	以前より利用者の方の声として障がい福祉課へ報告し「実施は困難である」との回答を得た為、個々の利用者への説明は行っているが、毎年要望は上がっている。	
浴室の天井をきれいにして欲しい	年々天井のカビが増殖している為生活介護利用者からのご意見を障がい福祉課へ報告する旨を説明している。		

利用者満足度評価 コメント

上記の通り、施設の利用のしやすさについては69%の方が大変満足とやや満足、職員の対応・態度については87%の方が大変満足とやや満足、実施事業の充実度は71%の方が大変満足とやや満足との回答をされています。今後とも、分析・評価に努めてまいります。なお、土曜日の開館希望やショートステイのご希望は、毎年要望があります

(3) 収支状況の分析・評価

(単位：千円)

収入の部

		予算額	実績額	実績 - 予算	備考	
委託料		0	0	0		
利用料金等	施設利用料	0	0	0		
	事業収入	生活介護	110,446	103,305	-7,141	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス (重心以外)	33,894	76,454	2,895	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス (重心)	39,665			
		給食費	0	0	0	
	雑入	0	836	836		
収入合計		184,005	180,595	-3,410		

支出の部

(単位：千円)

大項目	小項目	予算額	実績額	予算 - 実績	備考
人件費	給与費	145,000	118,721	26,279	給与費に賞与含む
	福利厚生費	0	2,220	-2,220	
	法定福利費	0	21,745	-21,745	
	賃金等	0	0	0	
事務費	印刷費	0	0	0	
	通信費	1,000	705	295	
	保険料	2,500	2,082	418	
	事務用品費	2,500	37	2,463	
	旅費交通費	2,800	1,898	902	
	賃借料	2,300	1,798	502	
管理費	業務委託費	6,800	6,020	780	外注費
	光熱水費	7,000	5,074	1,926	
	修繕費	3,000	517	2,483	車両費
	燃料費	2,800	2,755	45	
物件費	備品購入費	0	1,267	-1,267	消耗品費
事業費	事業費	7,800	12,203	-4,403	広告宣伝費・研修費・接待交際費・支払手数量・減価償却費・図書費・諸会費・会議費・人材派遣費・雑費
公租公課	租税公課	0	916	-916	
支出合計		183,500	177,958	5,542	

収支（実績ベース）

180,595 - 177,958 = 2,637

収支状況評価コメント

放課後等デイサービスについては、新規利用児増により安定したご利用人数を受け入れることができた。生活介護の収入が利用者の機能低下に伴い長期の入院等による欠席により予定金額を下回った。